

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名 (有限会社信濃環境衛生舎)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (異なる取扱基準があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
							1 是	2 否	3 は	4 い	5 は	6 い	7 は	8 い	9 は	10 い	11 は	12 い	13 は	14 い	15 は	16 い	17 は	
1		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本(必須)			雇用、昇進、登用あらゆる条件で差別しない体制を構築し経営トップが積極的に関与している。 経営者が朝礼等で差別の禁止を徹底している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本(必須)			経営陣に、相談窓口を設置している。 経営者が朝礼等でハラスメントの禁止を徹底している。				5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1		
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本(必須)			契約労務士の指導の下、労働基準法の順守を行っている。 希望休・有給の取得が取りやすい社内風土にしている。							8.5 8.8											
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本(必須)			外国人労働者の適切な待遇や労働環境を整備している。				4.4			8.7 8.8		10.2 10.3									
5	人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			毎日の朝礼で、社員向けの労働安全意識高揚の実施をしている。緊急事態の発生時には、すぐ報告するよう徹底している。			3				8											
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本(必須)			出社時に、社員の健康状態、メンタルヘルスケア、声掛けなどを実施している。 個別案件には、経営者が相談に応じている。		3																
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)を受け入れて活躍できる環境を設けている。			5.1 5.5			8.5 8.8		10.2 10.3										
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本(必須)			各種、資格の取得機会を設けて行っている。 取得費用の一部を会社が負担している。			4	5.5		8 9												
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本(必須)			契約労務士の指導の下、雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。			5.5			8.5 8.8		10.2 10.3										
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			健康診断を、年/一回会社で義務付けている。		3				8												
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本(必須)			廃棄物の種類、量などを把握し台帳を整備して適切な処理を実施している。 廃棄物処理業者として地域の廃棄物処理に料金を低廉にしている												11.6 12.4		14.1				
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本(必須)			自社の電気、燃料、水道の使用量を把握している。						7.3							13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本(必須)			経営者が朝礼等で、節電、節水、エコ運転を呼び掛けている					7.2 7.3							12.4 13.3						
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本(必須)			法律に基づいて、把握、適正な処理を行っている。			3.9		6.3							11.6 12.4						

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (異などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
							1 SDG 1 人間 の 命	2 SDG 2 食 物 生 産	3 SDG 3 健 康 と 公 共 衛 生	4 SDG 4 学 校 教 育 と 能 力 開 発	5 SDG 5 性 別 平 等 と 人 権 尊 重	6 SDG 6 水 と 環 境	7 SDG 7 清 潔 な 能 源 と 環 境 保 護	8 SDG 8 業 務 と 仕 事 の 機 会 と 経 済 的 繁 栄	9 SDG 9 产 业 と innovation と infrastructure	10 SDG 10 不 均 衡 と 不 平 等 と 人 間 の 命	11 SDG 11 城 市 と 人 间 の 住 み と 环 境	12 SDG 12 持 续 的 な 开 发 と 环 境 保 护	13 SDG 13 气 候 变 化 と 地 球 の 保 护 と 持 续 的 な 开 发	14 SDG 14 海 洋 保 护 と 持 续 的 な 开 发	15 SDG 15 地 球 の 保 护 と 持 续 的 な 开 发	16 SDG 16 平 和 と 公 正 と 人 权 と 法 律 の 保 护	17 SDG 17 合 意 と 协 力 と 持 续 的 な 开 发	
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			自社活動が、環境や生態系に悪影響を及ぼさない様配慮している。									6.6								15	
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			取り扱い廃棄物製品の工場での3Rの資源物になり得る物の資源化・再利用・製品化している。															12.5	14.1		
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			利用効率の改善に取り組んでいる。 洗車場の排水は、油水分離槽を設置している。								6.4 6.6										
18	環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			現在、取得はしていないが、今後の会社の発展状況により、表対効果を考慮し検討する。			3.9			6	7							12	13.3	14	15	
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			ホームページ上で、環境情報の公開予定を検討している。														12.6				
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			事務所・工場の照明を順次LEDにしている。								7.2						13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			コピー時に裏紙、再生紙を活用している。 伐採した天然木どうを、バイオマスチップとして利用先に紹介している。														12.2	13	14	15	
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			汚職・贈収賄の禁止を社員に徹底している。																16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			不正競争行為に関与しない様に、社員に周知徹底している。																16		
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			特許・知的財産の不正利用を行わないよう周知している。							8.2 8.3	9										
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			個人情報の一元管理を徹底している。 社員のマイナンバーの適せい管理を行っている。																16		
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			現在、取り扱っていない。今後も取り扱わない方針です。																16		
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			取引先の対話を通じた人権侵害防止の取組み作業について認識を共有し、共に取り組んでいる。					5		8		10		12	13	14	15	16	17		
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト : https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)	【非該当】		パートナーシップ構築宣言に該当ないです。			3					8	9	10							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセルンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当たる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当たる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定